

9) 現地普及活動事例の紹介

(1) 若手パワーの結集による中山間農業の展開と遊休農地の解消

1. はじめに

鷹栖町は稲作を基幹とした道内でも有数の水田地帯である。しかし、生産基盤は農業者の高齢化、労働力不足、中山間地を有するため農作業の非効率によるコスト高、耕作放棄地の発生懸念等、多くの課題が顕在化していた。

平成16年7月、普及センターは町内の中でも地域の将来に危機感を持った北成地区を重点対象に設定し、地域生産者、関係機関とともに北成土地利用検討委員会を結成し地域営農の確立に向けた支援を行った(図1)。

2. 活動の経過

1) 作業受託組織の結成と共同作業による効率化

平成16年までは、転作作物の管理作業を個別で委託していたため、非効率的で生産性も低かった。平成17年4月、地区農業者による作業受託組織『北成アグリサポート』の結成を支援し、地区内の畑作物を共同作業により効率的に管理を進めてきた。その後、受託組織自ら農地を取得する必要性が出てきたため法人化を提案し、検討を重ねた。その結果、平成19年5月、青年4名が個別経営を残した上で農事組合法人『北鷹』^{ほくおう}を設立し、地域農業の振興に向けて取り組むことになった。

2) 水田と畑地の団地化と遊休農地の発生防止

平成16年の検討委員会でまとめた離農予測マップで、全ての農地を維持、管理することは困難であると見られた。農地の遊休化防止のため、地域の合意を得て、畑地を中山間地の沢地に、水田を作業効率の良い平地に集約するように提案した。

3) 高収益作物導入による法人経営の安定化

余剰労働力を活用し経営の安定化を図るため、高収益作物栽培に共同で取り組むよう提案した。作物選定には土地利用型作物と、地区内の労働力を活用した労働集約型作物を組み合わせた。作物は平成17年から栽培が続いているきび、小果樹に加え、19年は露地立茎アスパラガス、20年からは、鷹栖町特産のトマトジュース『オオカミの桃』の原料トマトの栽培を行っている。立茎アスパラガ

スの導入に際しては「道北地域におけるアスパラガス露地立茎栽培技術の実証」(H16指導参考事項)を参考にした。また『北鷹』に対し個別経営との労働競合を避けるため、作物選定や栽培計画を支援し新規作物の栽培管理指導を行った。

4) 高齢者や女性も参画できる地域活動

高齢者でもできる軽作業や収穫作業等の生産活動へ参画できるよう提案し、高齢者が安心して生活できる環境づくりを目指した。さらに、女性の地域事業への参画を働きかけた結果、あいべりー、まいど倶楽部が結成され、地域活動や『北鷹』を支援している。

3. 活動の成果

1) 団地化による作業の効率化と遊休農地発生防止

『北鷹』が団地化推進のため水稻栽培を開始し、水稻団地内の畑作物が、水稻に切り変わっている。一方、畑地の団地化も沢地帯を中心に集積が進んでいる(図2)。『北鷹』は平成21年、22ha(水稻6.2ha、転作15.8ha)の経営に取り組み、農地の遊休化防止の一翼を担っている(表1)。

2) 高収益作物導入による経営の安定化と高齢者や女性も参画できる地域活動

『北鷹』に対する補完組織の支援体制が整ったことで、作業委託や野菜等の生産拡大が図られ、多くの雇用場面ができた。これらの労働に対する賃金は北成地区の女性や高齢者、農業青年に支払われ、資金が地域内で循環している(表2、図3)。

3) 活発な地区活動による影響

これらの活動で地域の農家減少に歯止めが掛かった(表3)。また、地元JAでは将来の農家戸数減少予測を踏まえて、『北鷹』のように地域を担う法人設立や、新しい地域農業の在り方を検討している。

4. 今後の方向

地域農業のシステム化を定着させるためには、核となる法人経営の安定化が前提である。システムの中心である担い手や個別経営を支援し、地域を担える経営体育成を図ることが必要である。

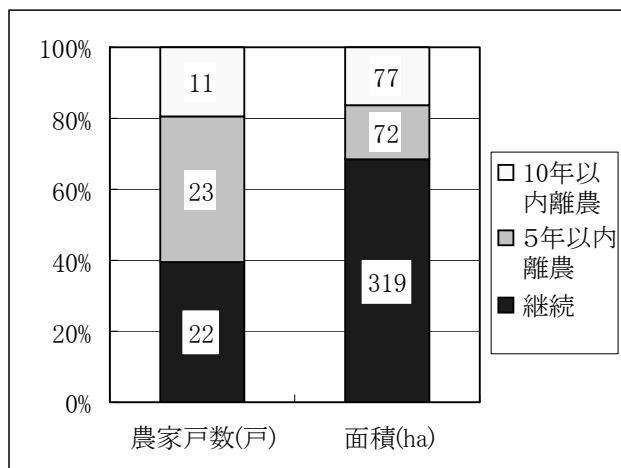


図1 北成地区の離農予測 (H16農家意向調査
：北成土地利用検討委員会)

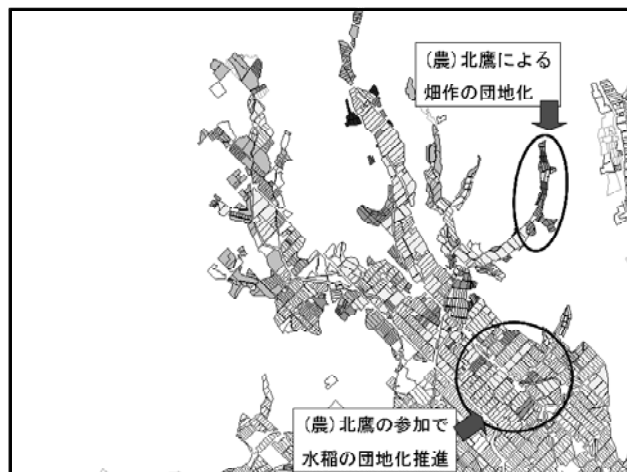


図2 水田、畑作の団地化推進

表1 (農)北鷹の作付け品目状況

作物名	H18	H19	H20	H21
水 稻	—	3.2	6.1	6.2
大 豆	7.1	6.0	6.0	1.2
黍	1.3	1.5	2.2	5.5
アスパラガス	—	0.1	0.3	0.3
原料トマト	—	—	0.1	0.1
小果樹	0.3	0.3	0.3	0.3
その他	12.9	4.5	7.4	8.4
合計	21.6	15.6	22.4	22.0

注) H18は北成アグリサポート、H19以降は(農)北鷹

表2 (農)北鷹の支援体制

グループ名	人数	主な支援内容
旧 北成アグリサポート		
認定農業者	8名	地域営農支援
地区内青年	2名	農作業補完
女性グループ あいべりー	10名	小果樹管理・収穫・加工・販売・軽作業
若妻グループ まいど倶楽部	4名	アスパラ・トマトの管理・ホームページ・直売経理

北成地区 56戸 (467ha)

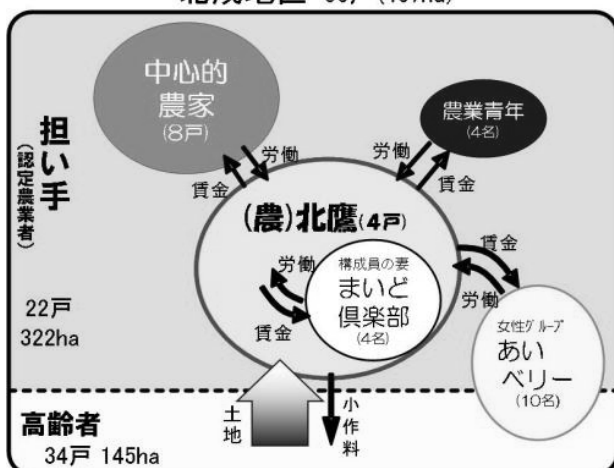


図3 地域労働システム関係図

表3 農家戸数の動向

	鷹栖町	北成地区	H16意向調査による予測
平成17年	459	57	56
平成21年	414	56	33
H21/H17対比 (%)	90	98	59

(鷹栖町農家戸数は町調べ)